

第 32 回三遠南信サミット 2025 in 東三河 サミット宣言

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、8月に南海トラフ地震臨時情報の巨大地震注意が初めて発表されました。こうした情勢を踏まえ、「地域の強靱化を考える ～連携の再確認～」をテーマとして議論を行い、我々、三遠南信地域連携ビジョン推進会議は以下の項目に重点を置き、取組を推進します。

- 1 三遠南信自動車道をはじめとする「道」、三河港・御前崎港の「港湾」などの平常時や非常時の機能や役割について広域的な視点で再確認し、その役割を最大限発揮できるよう地域が連携して備えます。また、インフラの整備・維持に向けた提言活動にも一丸となって取り組みます。
- 2 激甚化・頻発化する自然災害等において、地域コミュニティの果たす役割は重要度が増しています。災害時においても地域コミュニティが維持できるよう、三遠南信地域における多様な主体の連携の促進や、復旧・復興に向けた「広域的な共助」により地域コミュニティの強化を目指します。
- 3 非常時の事業継続は地域の復興に貢献することからBCP（事業継続計画）の策定促進を図るとともに、「地域連携BCP」など事業者や地域の連携をもって、地域のさらなる事業継続力強化を目指します。

2030年を目標年次とする第2次三遠南信地域連携ビジョンに掲げている地域像の実現に向け、この場を共有する全ての主体が取組を推進することを確認し、第32回三遠南信サミット2025 in 東三河のサミット宣言とします。

令和7年1月27日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議
第32回三遠南信サミット2025 in 東三河